

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和7年12月24日

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉 修一 殿

学校名	春日市立春日南小学校
報告者	保利 涼子 (連絡先 TEL : 092-501-4155)
寄贈品	実物投影機(ウチダ) 型式 VR-1FK 6台
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	(1) 図書の読み聞かせでの活用 使用者・・・担任・司書 (2) 各教科における学習活動での活用 使用者・・・担任 ・算数科 1年「形あそび」 児童の作った形を共有するために活用 ・国語科 2年「あったらいいな こんなもの」 児童が描いた絵を提示しながら、発表するために活用 ・その他 低学年では、言葉の説明では理解が難しいときに、ノートやドリル等を映しながら、確認することに活用
申請当初の 目的達成状況	・相互の考えを視覚的に表現し、学びを深めるために実物投影機を活用していたが、数が少ないため、各学級で使うことは困難だった。
教育的効果について 所見等	実物投影機の活用により、児童の考えや作品を即時に共有でき、学習内容の理解が深まった。また、児童同士が互いの考えを認め合う学習風土が育まれ、特に低学年においては、自己表現を支える有効な手立てとなった。各学年に1台置くことで、必要なときにすぐに活用できるようになった。

活用状況の写真等（当日の様子など）

（1） 1年生 算数科「かたちづくり」

児童が作成した形を実物投影機で提示し、形の構成や並べ方について全体で確認した。具体物を基に意見を交流することで、形の特徴への気づきが深まった。



（2） 2年生 国語科「あったらいいな こんなもの」

児童が考えた「あったらいいな」と思う道具の絵を実物投影機で映しながら、どんな道具か、あったらいいなと思うわけなどの発表を行った。視覚資料を用いることで説明が分かりやすくなり、表現力の育成につながった。



（3） 全学年 「読み聞かせ」

絵本を実物投影機で映し出し、全児童が同じ場面を共有できるようにした。挿絵や登場人物の表情に着目しながら物語を聞く姿が見られ、内容理解の向上につながった。



今後の活用見通し・課題

- ・ 具体的活用例などを教師間で共有し、様々な学習での活用を図る必要がある。